

写真展

クロード・エステーブ「ラジウム・ガールズ」

クリスティーン・シベール「Meeting the dogmu」

会期：2014年4月18日(金) - 5月6日(火) 休廊：4月21日(月), 28日(月), 5月5日(月)

会場：ANEWAL Gallery 時間：11:00 - 19:00

アーティストトーク&オープニングパーティ 20日(日)11:00~トーク 12:00~14:00 オープニングパーティ



Thoradia from Radium Girls series / © Claude Estèbe 2012



Military girls in Nampo beach / Christine Cibert

「ラジウム・ガールズ」 クロード・エステーブ

RADIUM GIRLS (ラジウム・ガールズ) は、1920年代にアメリカの蛍光塗料としてラジウムを時計の文字盤に塗装する会社で多くの女工が顎に放射線障害を負った事実から、イメージが湧いた作品です。UVライト、ダイオードや蛍光スノースプレーの光と、私たちのグローバル化されたプラスチック文化とが融合してクローズアップされた色と光の妖しげな世界は、商品美学とは別の不気味な雰囲気を作りあげています。

クロード・エステーブはフランス人の写真家で日本のビジュアル・カルチャーの専門家です。元コンピューター・エンジニアでもあります。フランスの文化機関である京都ヴィラ九条山のレジデント・アーティストでした。

Kyoto Graphie / 京都グラフィー <http://www.kyotographie.jp>

第2回「KYOTOGRAPHIE国際写真フェスティバル」を2014年4月19日から5月11日に開催します。当フェスティバルは、華やかな春を迎えた美しき日本の古都、京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る唯一無二の国際写真フェスティバルです。今年度は、「Our Environments~私たちを取り巻く環境~」をテーマに、その規模は家族の風景という身近なものから火星の表層という宇宙規模のものまで、普段特別に意識することの少ない様々な環境について、写真を通して考えていきたいと思えます。

「Meeting the dogmu」 クリスティーン・シベール

「ドンムに会う」クリスティーン・シベール

クリスティーン・シベールはフランス人女性で、2006年4月から2008年12月までを国連勤務の夫とともに隔離した国、朝鮮民主主義人民共和国に住んでいました。この展示は、彼女の眼を通して見たその国の姿です。

一連の写真はすべて、クリスティーン・シベールが出会った北朝鮮の女性や少女たちのさまざまな様子を捉えています。彼女は平壤や他の地域での彼らの日常生活を伝えようとしたました。それには文化的な違い、言葉の壁、外国人との接触への恐怖が伴い、撮影には極めて細心の注意を要しました。